

# 日本のうたごえ祭典 in ちば 「アコーディオン合同」の報告

アコーディオンオーケストラ実行委員会より

11月19日（日）は、日本のうたごえ祭典大音楽会のフランクシナトラ in コンチェルトの本番でした。当日は、54名エキストラ2名の56名の参加でした。

朝から雨の中練習会場の美浜文化ホールに9時半に集合、広いホール練習のため指揮の柴崎先生は、客席の後ろの方で指揮をして遠くまで音を届かせる練習や、響きのない本番を想定して音を出しました。すぐに楽器はバスに乗せ、人間は電車で本番のポートアリーナに移動しました。12時30分から舞台でのリハーサル、音源チックに松永先生に来ていただきました。

1回目は皆さん緊張気味でしたが、2回目の演奏がとても良かったようです。休憩を取って本番は7時頃から、6月からの練習の成果を出すように、柴崎先生の指揮に集中して1曲目のマイウェイそして、5曲目の the lady is a tramp のジャズのノリに入っていました。皆さんの気持ちも1つになって良い演奏が出来ました。

毎回の練習会は、柴崎先生の音の出し方・ジャバラの使い方等、わかり易く楽しい練習でした。実行委員会はニュースを発



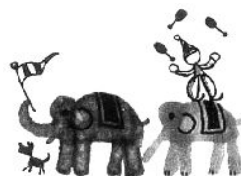
行して毎回の練習会のまとめや連絡を載せました。6月からの7回の練習会、そして実行委員会は10回以上です。普段は教室や個人で練習をしている皆さんが集まって、

大合奏を大きな舞台

で1つになって演奏したことや、今回は若い皆さんが20人以上参加したことは大きな成果でした。★写真はプログラムの表紙

## 初めて参加した方の感想

合同練習は、初めての場所で大変でした。パート練習は心配でしたが、ベテランの方が優しく指導して下さい助かりました。練習の時に先生の表情が豊かで、楽しかったです。参加する事で、親しくお話する方々が増えて、嬉しいです。本番は長い1日でしたが、本番はアツと言う間に終わってしまいました。貴重な経験でした。



## 客席からの感想

千人も舞台にのる大合唱、あの広い舞台に響きわたらせるにはアコーディオンも百人位の方が良かったと思いますが…。自分は？重いアコをかついでレッスンに通った皆様、お疲れ様でした。（阿部）

3・11の大震災を体験して迎えた、うたごえ祭典 in 千葉。

音楽の持つメッセージそのエネルギーにオープニングから感涙しました。（高橋）



■日本のうたごえ祭典 in ちばアコーディオンオーケストラのブログ

<http://utagoie-acc.seesaa.net/> も合わせてご覧下さい。



